

日本ビタミン学会第75回大会企画にあたって

日本ビタミン学会第75回大会委員長
東北大学大学院農学研究科
白川 仁

この度、日本ビタミン学会第75回大会を、2023年6月17日(土)から18日(日)に、東北大学青葉山コモンズ(宮城県仙台市)において対面で開催することとなりました。

本大会の仙台での開催は、1958年(第10回)、1976年(第28回)、1992年(第44回)、2008年(第60回)以来の5度目になります。大会会場は東北大学青葉山新キャンパス内にあります青葉山コモンズです。最寄り駅である仙台市営地下鉄東西線の「青葉山駅」は、仙台市中心部から7～9分ほど、また青葉山駅より会場までは徒歩5分程度で、とても交通の便の良いところにあります。

新型コロナウイルス感染症が世界中に蔓延して3年ほど経ちますが、この間、感染予防や重症化抑制に対するビタミンなどの栄養素やバイオファクターの果たす役割が明らかとなり、改めて日々の食生活が疾病の発症抑制に大きく関わっていることが示されてきました。今後続く、ウィズコロナ時代、さらにはポストコロナ時代においても、微量栄養素の不足、特に潜在的な欠乏状態が感染と重症化、さらにはこれらのリスクを高める生活習慣病の発症・増悪を導く可能性が大きいことから、これまで以上にビタミン、バイオファクター研究の重要性が増してくると思われ、本大会のテーマを、『ビタミン・バイオファクターと研究者の想いを繋ぐ未来への懸け橋』としました。基調講演、海外からの招聘者による特別講演、産学連携シンポジウム、若手シンポジウム、一般講演、スポンサードセミナー(ランチョンセミナー)、企業展示に加えて、情報交換会を企画して、コロナ禍によって失われていた研究者の対面での交流の場を完全に復活させ、ビタミンや微量栄養素の摂取量の現状などを踏まえて、ポストコロナ時代に向けたビタミンやバイオファクターの重要性を大いに議論できればと思います。

開催時期となる6月中旬の仙台は梅雨入り前で、市内の木々の緑が色濃くなり、まさに、杜の都仙台の魅力が堪能できる時期です。多くの皆様にご参加していただきますことを、心よりお願い申し上げます。